

事業計画書

令和4年度（2022年度）

【令和4年4月1日から令和5年3月31日まで】

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

法人概要

【法人の沿革】

1977年 4月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』創設 理事長 安家茂美 「豊中あけぼの保育園」長興寺南に開園 (S52.3.31 認可) 園長 安家茂美
1987年 4月	「あけぼのベビーセンター」上野西に開園 (S62.3.26 認可) 園長 安家周子
1988年 12月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』 理事長 安家周子就任
2000年 6月	豊中あけぼの保育園分園「あけぼのぶんぶん」曾根東町に開園 園長 安家周子
2001年 4月	「あけぼのぶんぶん」小規模保育園へ認可変更 (H13.3.30 認可)
2002年 4月	「あけぼのドロップス」上新田に開園 (H14.3.29 認可) 園長 安家尚子
2005年 3月	『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』 理事長 安家周一就任
2005年 4月	「あけぼのぼんぼこ保育園」西緑丘に開園 (H17.3.31 認可) 園長 安家比呂志
2012年 3月	「豊中あけぼの保育園」城山町に移転
2015年 2月	「あけぼのぶんぶん」長興寺南に移転
2018年 4月	「あけぼのベビーセンター」を「あけぼの風の森保育園」へ名称変更
2019年 4月	「豊中あけぼの保育園」を幼保連携型認定こども園「豊中あけぼのこども園」へ認可変更 「あけぼのドロップス」を幼保連携型認定こども園「認定こども園あけぼのドロップス」へ認可変更 「あけぼのぼんぼこ保育園」を幼保連携型認定こども園「あけぼのぼんぼこども園」へ認可変更

【保育の方針】

保育理念：保育する上での根本的な考え

「今しかできないこと 今だからできること
しっかり見つめること ギュッとハグすること
自分の興味を満喫させて遊ぶこと 思いっきりカラダを動かすこと
大人みんなで精一杯愛すること 大人も育つこと
私たちはこんな保育園を目指します」

保育目標：保育の具体的な目標

「すべての生活から健全な心身を育てる
すべての生活からよく考える力を育てる
すべての生活から愛情と自立心を育てる」

モットー：こどものあるべき姿 「よくみる よくきく よくする」

スタッフポリシー：保育者としての原則

- ①こどもの安全が最優先されているか
- ②日々の生活が大切にされプログラムがこども側の論理に立っているか
- ③保護者に対して共感的態度で接しているか
- ④自分が人間として自立しているか
- ⑤自分が保育者として向上心があるか
- ⑥日々適切に報告、連絡、相談（ホウ、レン、ソウ）ができているか
- ⑦「もったいない」を大切にしよう
- ⑧自分を大切にし、周りの人を大切にする（No2の役割とチームワーク）

【役員・評議員の状況】

理事 6 名・監事 2 名 任期：令和 1 年 6 月 26 日～令和 2 年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	理事	安家 周一	あけぼの幼稚園 園長
2	理事	安家 比呂志	社会福祉法人あけぼの会 理事長
3	理事	安達 譲	学校法人ひじり学園 理事長
4	理事	鎌倉 利光	桧垣・鎌倉・寺廣法律事務所 弁護士
5	理事	中橋 美穂	大阪教育大学 教授
6	理事	水谷 豊三	学校法人成城学園 理事長
1	監事	上保 小太郎	元法人事務長
2	監事	河端 秀雄	社会福祉法人 豊中親和会 理事長

評議員 7 名 任期：平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年度最終のものに関する定時評議員会の終結するとき

	役職	氏名	職業等
1	評議員	片山 雄基	社会福祉法人種の会 理事長
2	評議員	北島 孝通	庄内こどもの杜幼稚園 施設長
3	評議員	辰巳 正信	学校法人たつみ学園 理事長
4	評議員	得 喜成	社会福祉法人愛成会 理事長
5	評議員	秦 賢志	学校法人小寺学園 理事長
6	評議員	濱名 浩	学校法人あけぼの学院 理事長
7	評議員	村野 光子	アトリオみなみおかこども園 園長

【法人全体の計画】 理事長：安家 周一

当法人は、今年度も子どもの健やかな成長と保護者の子育てによる育ちを保证するために、「子どもたちの命と育ちが護られ、保護者が子育ての喜びを感じ、教職員が仕事に誇りを持つこと」を使命として 2022 年度事業に取り組む。

「幼児教育の無償化」が 2019 年 10 月より実施され、3・4・5 歳児の保育料本体 25,700 円と長時間預かり分の 11300 円が無償となった。OECD 諸国が取り組みを進めている「スターティングストロング（人生のスタートを力強く）」の一環である。乳幼児期に予算配分を重点化することが、人がウエルビーイングを大切にしながら社会に貢献し人生を送るための必須条件であることが近年の知見によって明らかとなり、遅ればせながらわが国でも実現しつつある。また、長時間預かりについても予算配分されたことにより保護者の経済的負担の軽減が図られるが、若年層保護者の働き方の選択肢が多用となり、結果として長時間の保育が必要となっている。

現在の日本の労働者は長時間勤務やオンラインによる在宅勤務などによって家庭の豊かな生活はゆがめられ、急かされる生活を余儀なくされている。日本で生きる 3 歳未満の子どもの睡眠時間はニュージーランドや欧米諸国に比して 2 時間くらい短い調査結果もあり、肥満や脳の発育にも不安を感じる。(Avi Sadeh イスラエル 子どもとねむり 三池輝久)

新型コロナウイルスの流行は株の形を変えて子どもや保護者、教職員に襲いかかり、様々な行事や運営を柔軟に変化させる必要がもうしばらく続くと予想される。英知を結集して臨みたい。

新年度は永年当法人副理事長、あけぼのぼんぼこども園園長を務めた安家比呂志が退任することもあり、傘下各園園長の人事を大きく変化させた新体制で各園の運営に望むことになる。

新しい息吹の中で充実した運営を心掛けたい。

今後とも様々な研修によって学びを深め、職員の同僚性を大切に、それぞれのよさを生かした施設運営を模索し、長期間勤務が継続されることを願って、働き方や労働条件も更なる改善を目指す。

○各施設共通の具体的な取り組み

I] 安全な食事の提供を行うための様々な工夫

ここ数年、安全な食材の仕入れや共通メニューによって、食の面が大きく前進した。主食費・副食費の金額も7500円／月に設定し、野菜に加えて、調味料や乾物などにも配慮し始めることができています。引き続き乳幼児の食事について、研究工夫を重ねる。

II] 勤務に対する評価

評価については、従前より当該施設長・主任によって評価を行い、期末賞与に反映させている。職員と管理職のコミュニケーションを深化させ、しっかりとしたチームづくりに力を傾注する。

III] 内外の環境整備

昨年に引き続き今年度も室内環境、屋外環境を点検し、清潔さや充実に努める。

IV] 施設ごとの大規模修繕を実施するための積立金

各施設計画

【豊中あけぼのこども園】 園長：三倉 敏浩

所在地：〒561-0803 豊中市城山町 1-2-25

連絡先： TEL/06-6863-7050 FAX/06-6863-1260 E-mail/toyonaka_akebono @akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	72	5	9	12	15	15	16
実員 (4/1予定)	73	5	9	12	16	16	15

職員数：

4/1配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	14	2	1		17	
契約職員	6	2		1	9	子育て支援員2名 無資格 3名 学生アルバイト1名
計	20	4	1	1	26	

嘱託医：

内科医	歯科医	眼科医	耳鼻科医	薬剤師
西村 亮	河上 計人	岡崎 俊夫	上川 保廣	中尾 綾子

第三者委員：中下浦洋子・小井優美子

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
①今後の園の特性に合わせた人材育成	・2023年度よりあけぼのぶんぶんと連携施設化がスタートし、縦割りクラスを1クラス増設、3ヵ年かけて幼児を24人増員する。今後、主に2号認定児に特化した施設となっていく中で、乳児から幼児への発達の連続性や縦割り保育の特性を理解し、保育を実践する事ができる人材を育成していく。
②乳児保育の質の向上と 2施設間の連携	・連携施設化に伴い、両施設の乳児クラス（まずは2歳児クラスを中心）で毎月保育内容の打ち合わせや保育見学、担任交流などを実施し、連携後3歳児で合流する姿をイメージした保育観・保育内容の共有を行なう。又、その取り組みを通して乳児保育のスペシャリストを育て2施設の総合的な乳児保育の質の向上へ繋げる。

③ “引き継ぐ” 視点の カリキュラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育実施 10 年間を振り返り『縦割り保育カリキュラム』の再構成 ・あけぼのぶんぶんと『乳児保育カリキュラム』の連携した整備
④NO 残業、NO 持ち帰りの 習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・特定徴収金による幼児クラス 2 人担任制（リーダー・マネージャーの役割分担による質の向上）、全体フリーを 0.1.2 歳児クラスへ固定し副担任化（育児担当制の概念の担保）する人員配置を行ない、職員が日中の事務処理時間を各自でマネジメントする事ができるシステムを構築する。

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
①あけぼのぶんぶんと の 連携開始から在籍園 児数補完までの保 育・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度の連携開始から 2025 年度への 2 年間の園児数は幼児クラスが増員、乳児クラスは減員となる。今までの経験を活かしつつ、人数変化に合わせた保育の在り方を、職員間で話し合いながら確立させていく。又、乳児クラスの園児数減員に伴い、(約 220 万円)収入が減少する。その分あけぼのぶんぶんの収支は増額し、2 施設合計では現在よりも積立額を (約 85 万円) 増額していける状態になるが、2 施設でひとつの運営という考えの基、よりシビアに連携を取り合った施設運営を心掛けていく。
②あけぼのぶんぶんと の 人材交流・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラス経験者のあけぼのぶんぶんへの異動や行事の共催、あけぼのぶんぶんと乳児保育の共有による質の向上等、人材交流を通して 2 施設の特性を活かした人材育成を行なう。
③学びの発信	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育 4・5 クール目（2021 年度～2026 年度）の検証や、あけぼのぶんぶん（乳児施設）との連携に伴う取り組み等を学びの題材として取り纏め、自身の保育への理解や学びを深められるように内外へ発信できる機会を設けていく。
設備	具体的な取り組み計画
①園庭環境 (園庭『秘密基地化』計 画)	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度、園舎側園庭の固定遊具を撤去し、植樹 (7 本) を行なった。今後、3 カ年かけて幼児の園児数が増員する事を鑑み、植樹した木や池と組み合わせて 2 階建てのデッキテラスを段階的に設置し、遊びの空間を広げていく。
②階段踊り場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・連携施設化に伴う保育室増設工事により、絵本置き場でもあった ミーティングルームがなくなる。子どもが自由に絵本と触れ合える環境を目指し、階段踊り場を整備

	し新たに絵本コーナーを設置していく。
--	--------------------

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
・ 保育室増設・ホール改築工事（連携施設化計画）	6,490,000 円
・ ロッカー：3 台（連携施設化計画）	602,250 円
・ 電子ピアノ：1 台（連携施設化計画）	140,000 円
・ 外壁塗装メンテナンス	1,100,000 円

【あけぼの風の森保育園】 園長：武田 愛子

所在地：〒560-0011 豊中市上野4丁目5番62号

連絡先： TEL/06-6857-2003

FAX/06-6857-2086

E-

mail/akebono_kazenomori@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
認可	60	9	25	26			
利用	60	9	25	26			
実員 (4/1予定)	60	9	25	26			

職員数：

4/1配置	保育士	調理	看護	事務	計	備考
正職員	17	2			19	
契約職員	8	1	1		10	シルバー8名・アルバイト1名
計	22	3	1		26	

嘱託医：

内科医	歯科医	眼科医	耳鼻科医	薬剤師
吉田 悟	亀井 正明			

第三者委員：笹部広美、安威 道子

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は育休復帰した者もいれば、年度途中で産休や結婚退職で中堅職員がいなくなる。新人職員も多いことから、担当制保育の理解と実践方法を振り返り学び会える機会を多く持つ。 ・メンターメンティー制度の活用方法を見直し、勤務時間内に2人で過ごす時間を設けることで信頼関係が深まるきっかけ作りとしていきたい。 ・保育におけるリスクマネジメントの重要性を知り、自らを守るためにも危機管理の意識を高める。(研修強化) ・リモート研修を大いに活用して積極的に学ぶ機会を設けていく。
就学前施設への移行	<ul style="list-style-type: none"> ・去年度、子ども達の声を吸収することができる吸音壁を設置。業者と大学教授が研究を重ねて開発された塀となり、設置後の検証では20dBの音が下がっている結果が出た。 これを良い機会として、近隣協議会で就学前施設へ移行を打診する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市と業者の力合いをもらい来年度から就学前施設になれるように一歩前進したい。
働き方の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・職務リーダーの仕事内容が明確になることで協力し合っ て時間配分ができるようになってきた。引き続き、勤務 時間内にリーダーの仕事が終えるようにしていきたい。 ・45分休憩時間の確保が定着。しかし行事前になると休憩 時間の確保や勤務時間外勤務になることもまだ多い。行 事改革にも取り組むが仕事量には反映されていない。今 後、改革を進めながらも職員が計画実行において意識を 高め協力し合うことで取得していきたい。

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
[目標・課題] <ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児卒の欠員対策として、0歳児向けの地域支援を強化する。 ・コロナ禍でも地域の親子や高齢者の方と交流できる機会を多くもてるよう取り組みを続ける。 (BPプログラムやズームによる育児相談の強化) ・地域の奉仕活動や行事に引き続き積極的に参加する。 (夏まつり、お餅つきの参加)
[設備] <ul style="list-style-type: none"> ・園庭改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・去年度の園庭工事で出来なかった追加工事の実施。

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
<ul style="list-style-type: none"> ・テラス階段下庇取り付け 	280,800
<ul style="list-style-type: none"> ・園庭デッキ、畑、柱の追加、安全ミラー（園庭の追加工事） 	700,000 円

【あけぼのぶんぶん】 園長 山中 由貴子

所在地：〒561-0874 豊中市長興寺南2丁目8番16号

連絡先：TEL/06-6867-0711 FAX/06-6867-0712 E-mail/akebono_bunbun@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	45	12	15	18	—	—	—
実員 (4/1予定)	45	12	15	18	—	—	—

職員数：

4/1配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	14	2		1	18	産休2名
契約職員	7	2			9	
計	21	4		1	27	

嘱託医：

内科医	歯科医	眼科医	耳鼻科医	薬剤師
西村 亮	河上 計人	—	—	—

第三者委員：小井優美子、中下浦洋子

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
学び合う環境作り	<p>*書類業務の時間の確保や書類の見直しを図ってきた中で、確保できた時間を書類業務だけに留まらず、職員同士で保育の現状や課題などを話し、学び合いながら更なる質の向上に繋げる。</p> <p>*豊中あけぼのこども園との連携により、共に学び合う園として、合同研修会や自園では学べない幼児の育ちを知ること、乳幼児の連続性を学び保育の幅を広げていく。</p>
保育体制の構築	<p>*0歳児・1歳児は、月齢による発達の差があり、環境構成が難しいことからクラスの細分化を図り、0歳児の高月齢児と1歳児の低月齢児との混合による月齢クラスを設定し、より発達に沿った丁寧な保育を行う。</p> <p>*豊中あけぼのこども園との連携により、子ども達がスムーズに進級出来るよう、両園の職員と保育体制などを密に話し合い、実行や検証を行いながら構築を図る。</p>
子育て支援	<p>*豊中あけぼのこども園と、子育て支援の協同開催となることから、両園が「地域の子育て拠点」としての園を目指す。</p> <p>*現行の遊び場の提供や親同士の交流の場は継続しつつ、保育士・栄養士・看護師が、それぞれの専門性を活かしてい</p>

	ベントなどの開催などを行い、地域の子育て世代の方にとって、保育園という存在が親支援の場となるように努める。
働き方改革	*昨年度、業務の見直しを図ったことにより、勤務時間内に終わるようになったことで、働き易さに繋がったことから、更なる向上として、保育の取り組みや育ちの共有を行い、互いに認め合う同僚性を高め「やりがい」にも繋げていく。

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
[目標・課題] *組織としての意識向上 *園運営	*園長交代による新体制の下、組織力や同僚性を高める。 *卒園後の受け入れ先として豊中あけぼのこども園が連携園となり、2023年度卒園児より進級することから、両園で協議しながら連携による体制の構築を図っていく。
[設備] *園庭環境 *園内整備	*一年を通して、子どもの成長に合わせた変化する園庭作り *外壁や外柵の劣化に伴い、3年後を見据えて資金を積み立てる

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
*トイレの汚物槽の設置	1,400,000 円
*パソコン2台	200,000 円
*厨房機器（食洗器）部品交換	70,000 円

【認定こども園 あけぼのドロップス】 園長：越智 有貴子

所在地：〒560-0085 豊中市上新田4丁目番3号

連絡先：TEL/06-6155-1101 FAX/06-6155-1102 E-mail/akebono_drops@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	60	6	10	11	11	11	11
実員 (4/1予定)	67	6	10	12	13	13	13

職員数：

4/1配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	13	2		1	16	
契約職員	12	1	1		14	保育補助3
計	25	3	1	1	30	

嘱託医：

内科医	歯科医	眼科医	耳鼻科医	薬剤師
地寄 剛史	尾上 晃代	山口 哲男	上川 保廣	岩田 恵

第三者委員：松尾淳子、横井武光

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
幼児クラスの活動内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの選択性や可塑性を今までよりも広げた活動を取り入れ、子ども達が主体的・能動的にヒト、モノ、コトに関わることができるようにしていく。 ・D-Watch（園内観察会）の取り組みの継続。自園での実施と外部講師を招いた実施計画を立て進めていく。また、当日参加者だけの学びとならないように、映像の共有やアプリアンケートでの感想、助言等をその都度発信し園全体での共有を意識していく。
乳児クラス保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで取り組んできた自園での乳児保育を見直す。自園の規模や保育環境を踏まえ0歳児～2歳児の連続性のある育児と、普段の生活や遊びから四肢や体幹運動に繋がる取り組みを検討していく。
園庭改修・あそび場拡張計画	<ul style="list-style-type: none"> ・限りあるスペースを有効に使用する計画として、園庭遊具の改修を行う。幼児園庭から屋上にかけて木造の3F建ての遊具建設を行う。また、保育室からスロープを設置し遊具と連結させる事も検討中。国の補助金を申請予定で、案が通らなかった場合は長期計画に切り替え施行していく予定。

<p>他園の見学・公開保育への積極的参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ禍において予定していた他園の見学や公開保育等の制限がされた。職員からも他を見て学びを広げたいという意識が向上していることから、計画をすると共に職会や園内研修で得たものを共有していく。 ・社会福祉法人では、豊中あけぼのこども園、あけぼのぼんばここども園、認定こども園あけぼのドロップスの3園が幼児クラス異年齢縦割り保育を行う。縦割り保育を各園が継続して取り組みを行っている中で、一つひとつの保育や行事の取り組みや各園の特色等を共有したり、課題を話し合ったり、新たな取り組みにチャレンジするきっかけ作りになるような研修会を行っていく。
--------------------------	--

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
<p>[目標・課題] 地域との連携</p> <p>働きやすい環境の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前より地域探検プロジェクトを立ち上げるが、コロナ禍において予定していた関わりや連携が実施できていない。コロナ禍でも取り組める内容を模索していくと共に、計画していた内容を申し送り今後実現できるようにしていく。 ・書類の見直しや勤務体制の調整や職員の努力で、45分休憩の確保、ノンコンタクト時間の活用が定着しつつある。業務の負担軽減と同時に、生まれた余力で質の高い保育を実現する質の向上という観点をもって取り組んでいく。
<p>[設備] 園舎修繕</p> <p>園庭環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・築20年を超えることから、修繕箇所が急遽出てくる可能性があるため計画的に積み立てをしていく。(屋根の修繕) ・限りある園庭のスペースを有効に活用できるようにプロジェクトを組み検討していく。(上の空間を有効に使用するイメージ) ・ホールがない事から屋上スペースを有効に活用できるように雨除けの設置検討中

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
・洗面台の交換	231,000 円
・園庭外灯増設	284,900 円
・パソコン2台	200,000 円
・幼児園庭足洗い場設置	990,000 円
・園庭改修	3,000,000 円
※国の補助金に申請し施工予定。	
・ナノゾーンコート	300,000 円

【あけぼのぼんぽこども園】 園長：藤田 勲

所在地：〒560-0005 豊中市西緑丘2丁目4-1

連絡先：TEL/06-6857-0003 FAX/06-6857-0066 E-mail/akebono_ponpoko@akebono.ed.jp

園児数：

定員	全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
認可	150	18	20	24	29	29	30
実員 (4/1予定)	157	18	21	25	31	31	31

職員数：

4/1配置	保育教諭	調理	看護	事務	計	備考
正職員	24	2	0	1	27	
契約職員	8	3	1	0	12	(その他)シルバー人材 お昼寝4名・朝1名・掃除1名
計	32	5	1	1	39	

嘱託医：

内科医	歯科医	眼科医	耳鼻科医	薬剤師
間 敦子	山崎 善久	三木 耕一郎	平野 雅彦	多田 耕三 上村 詩乃

第三者委員：大里 ルミ子

本年度重点的に取り組む目標・計画と具体的な取組方法：

目標・計画	具体的な取組方法
新チームでの同僚性の構築と向上	<ul style="list-style-type: none"> ・開園から園長を務めてきた安家比呂志の退任による園長の交代、また2施設からの転勤者と新任でのチーム構成となる。まずは職員間での関係性や同僚性の構築が出来るように、コミュニケーションを円滑に図ることを目的とした意図的なアクティビティーを設けていく。(会議や園内研修等) ・今まで園が積み上げてきた実績や経験をベースに、様々なアイデアや意見を積極的に取り入れる。その中で対話を繰り返しながら園全体で建設的に考えることを大切にしていける。
園庭の使用法の模索	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の中で一番広い園庭を保有している事を活かし、4年前から園庭改革を行い環境の改善に意欲的に努めている。それまでの課題から、“園庭で従来通りの運動会をする”という事が前提であると、植樹や遊具改修等によるスペース活用に制限が出てきたことから、今年度は園庭計画プロジ

	<p>ェクトを立ち上げ 2023 年以降の園庭の使用・行事の考え方など今後の園庭改革の方向性を模索していく。</p>
幼児クラス体制	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より各幼児クラスに副担任を配置する。教育の充実と担任のノンコンタクト、保育準備・研究や事務時間の保証をできる体制作りを実現していく。同法人のこども園のモデルケースを参考にしながら急に舵をとることなくスモールステップで協議しながら進めていきたい。
法人内研修の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からあけぼの風の森保育園と連携施設になったことで、子どもを始め職員の交流行事を計画する。合同園内研修の企画や、お互いの保育を観察しあい高め合う事が出来るようにしていく。 ・社会福祉法人では、豊中あけぼのこども園、あけぼのぽんぽここども園、認定こども園あけぼのドロップスの3園が幼児クラス異年齢縦割り保育を行う。縦割り保育を各園が継続して取り組みを行っている中で、一つひとつの保育や行事の取り組みや各園の特色等を共有したり、課題を話し合ったり、新たな取り組みにチャレンジするきっかけ作りになるような研修会を行っていく。
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・園としての方向性（ビジョン）を再度明確にし、働き方改革リーダー、園長、主幹が中心となり進めていく中で職員各自が当事者意識を持ち進めていく事が出来るようにしていく。 ・他園からの転勤者がいる事をポジティブに捉え各園の取り組みをシェアしていく。

中長期的な運営課題に対する計画

目標・課題	具体的な取り組み計画
[目標・課題] ・園庭環境の充実と分析、中期的な計画の設立	・園庭改革と共に園庭の使用方法についての検討と検証。
[設備] ・空調設備改修工事 ・配管工事	・保育室・空調設備の3期回収工事の実施。 ・配管工事の老朽化に伴い配管工事を検討。

本年度に取り組む施設・設備整備、大きな支出項目：

項目	予算
・ PC	200.000 円
・ 空調設備工事（3年計画・総額 12.700.000 円） ※2022 年度で完了	5.200.000 円
・ 幼児用救机	600.000 円
・ Wi-Fi 増設工事	700.000 円
・ ナノゾーンコート	500,000 円